

台風15号被害に伴う技術対策について

台風15号の強風により、ハウスの倒壊やビニルの破損、作物の倒伏など広範囲に被害が確認されています。下記について今後の管理の参考に願います。

1 トマト

- (1) 作物が倒伏した場合は、草勢の回復を図るため、速やかに誘引を行う。
- (2) 倒伏により、一時的に根の働きが弱るため、葉面散布により草勢の回復を図る。
(例) チッソ成分3～5%を含む液肥を4～5日おきに散布
- (3) 病害が発生しやすいため防除を行う。疫病が発生した場合は、発病した葉や果実を取り除き、3日おきに3回防除を行う。また、かいよう病や斑点細菌病など細菌性の病害が発生しているほ場においても、早期に防除し蔓延を防止する。
- (4) 破損したビニル・防虫ネットのすき間から害虫が侵入するため、害虫の防除を併せて行う。

作物名	対象病害虫	薬剤名	使用時期
トマト	疫病	ゾーベック エニケード	収穫前日まで
		プロポーズ顆粒水和剤	収穫前日まで
		ランマンフロアブル	収穫前日まで
	かいよう病 斑点細菌病	カスミンボルドー	収穫前日まで
		銅パーシン水和剤	
	アザミウマ類 オオタバコガ	アニキ乳剤 (*1)	収穫前日まで
		コテツフロアブル (*1)	収穫前日まで
		ディアナSC	収穫前日まで

(*1) ミカンキイロアザミウマでの登録

2 キュウリ

- (1) 倒伏した場合は、草勢の回復を図るため、速やかに誘引を行う。
- (2) 病害が発生しやすいため出来るだけ早く防除を行う。べと病、灰色かび病、うどんこ病が発生しやすい。肥切れにより発生が助長されるので、葉面散布により草勢の回復を図る。

作物名	対象病害虫	薬剤名	使用時期
キュウリ	べと病	フェスティバルM水和剤	収穫前日まで
		プロポーズ顆粒水和剤	収穫前日まで
	灰色かび病	ゲッター水和剤	収穫前日まで
		ベルコートフロアブル	収穫前日まで
	うどんこ病	ベルコートフロアブル	収穫前日まで

3 イチゴ

- (1) 定植直後に苗が風で回されたり倒伏した場合、活着が遅れるため、苗を立て直し株元をしっかり抑える。
- (2) 定植予定のパイプハウスが被災した場合、安全を確認し、定植ができるようであれば、花芽分化を確認し遅れないように定植する。定植が大きく遅れる場合は、葉面散布により、定植苗が極端に肥料切れしないように管理する。
- (3) 炭疽病等の発生が懸念されるため、5日に1回程度殺菌剤を散布し予防に努める。なお、風雨により葉に泥などの汚れが付着している場合は、汚れを洗い流すように丁寧に散布する。

作物名	対象病害虫	薬剤名	使用時期
イチゴ	炭疽病	ゲッター水和剤	収穫開始21日前まで
		セイビアーフロアブル20	収穫前日まで
		サンリット水和剤	収穫前日まで

4 葉物類

- (1) 風雨により葉が傷つき病害の発生が予想されるため、殺菌剤を散布する。散布の際は、葉に付着した泥汚れを洗い流すように丁寧に散布する。
- (2) 発芽直後で、風雨により枯死や茎葉の損傷がひどく回復が見込めない場合は、播き直しを検討する。

作物名	対象病害	薬剤名	使用時期
ハウレンソウ	べと病	ランマンフロアブル	収穫3日前まで
		レーバスフロアブル	収穫3日前まで
チンゲンサイ・ミズナ	白さび病	ランマンフロアブル	収穫3日前まで
ネギ	軟腐病	スターナ水和剤	収穫7日前まで

5 露地ネギについて

- (1) 冠水した場合は排水に努める。土寄せは殺菌剤散布後、葉の伸びを確認してから行う。
- (2) 風雨により葉が傷ついたところから軟腐病等の病害菌の侵入が予想されるため、殺菌剤を散布する。散布の際は、葉に付着した泥汚れを洗い流すように丁寧に散布する。
- (3) 倒伏しているところは、引き起こしを行う。

6 レンコン

- (1) 葉柄が折れたところかられんこんの腐敗やすねあがり及早まる可能性が高いため、葉柄の損傷被害が大きい圃場から順に掘っていく。
- (2) 防鳥ネットを設置している圃場では、支柱およびネットの損傷の有無を確認し、損傷したものは補修する。

※農薬の登録内容は、令和元年9月1日現在の内容

※参考資料の作成にあたっては、農薬使用基準の内容について最新の注意を払っていますが、農薬を使用する方は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向き、風速、散布位置やノズルの向きに注意し、周辺作物に農薬が飛散（ドリフト）しないように注意しておこないましょう。特に周辺作物が収穫期に近い場合には、栽培者と情報交換することが重要です。